

= Match Report =

平成29年度第96回全国高校サッカー選手権大会栃木大会

準決勝

2017年 10月 28日 (土)

11:00 kick off 会場(栃木県グリーンスタジアム)

佐野日本大学高校

vs

小山南高校

2

1 - 0
1 - 0

0

PK

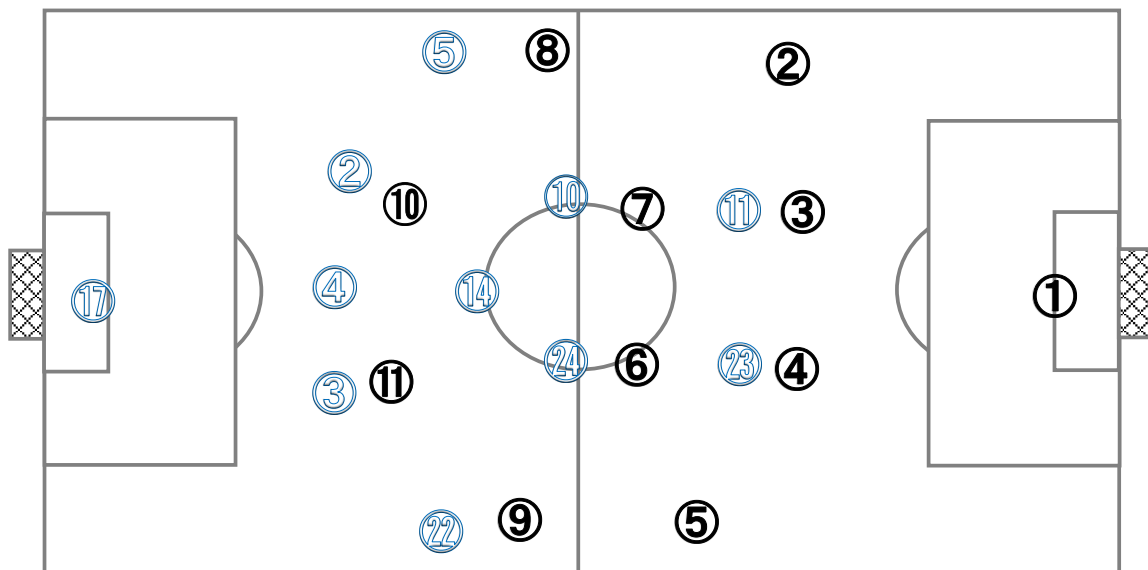
-

佐野日本大学高校

小山南

基本システム 1 - 3 - 5 - 2

基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

準決勝第1試合。佐野日大1-3-5-2、小山南1-4-4-2でスタート。佐野日大は7分、ディフェンシブサイドからDF②安藤が50m近く単独でボールを運ぶ。安藤はファウルを受けるがレフリーはアドバンテージを適用する。一瞬、足を止めてしまった小山南DF陣のスキを突いたFW⑪篠原が先制点を挙げる。追いつきたい小山南は、最終ラインでボールを保持し、サイドチェンジを多用してチャンスを窺うが、バイタルエリアにボールが入らず、得点チャンスを作るまでには至らない。対する佐野日大は守備時に両ウイングがDFラインに加わることで5バックを形成。ボール奪取後のカウンターを狙う。一進一退の攻防が展開されるがスコアは動かず、佐野日大の1点リードで前半を終えた。

後半、小山南は前半同様に2トップがサイドへ流れてDFラインの背後を狙うが、5バックで最終ラインのギャップを埋める佐野日大を攻略するには至らない。佐野日大は攻撃時に1-3-5-2の形で逆サイドのウイングバックが中に入り、数的優位を保ち続ける。優勢に試合を運んでいた佐野日大は52分、WB⑤栗原が左サイドから上げたクロス MF⑫溝口がヘディングで2点目を挙げ、そのリードを保ったまま勝利を収めた。

敗れた小山南は、落ち着いてビルドアップして最後まで得点を狙ったが、強固なブロックを形成する佐野日大を崩すことができなかった。高い技術と献身性を発揮して勝ち上がってきた今大会の戦いぶりに賛辞を送りたい。

勝利した佐野日大は、攻守にわたってチーム戦術の整理が良くなされており、安定した試合運びであった。中でも両ウイングバックの運動量は特筆すべき点である。万全のコンディションで決勝戦に臨んでいただきたい。

記載責任者 所属(今市高等学校) 氏名(北村 真一)